

## 令和元年度 大阪桐蔭中学校・高等学校 学校評価

## 1. めざす学校像

- ・建学の精神「偉大なる平凡人たれ」と、桐蔭の教育方針「鼎立なりて碩量を育む」のもと、徳知体教育の充実を図ります。
- ・生徒一人一人が希望する進路、目標、自己実現を達成できる学校となります。
- ・高校3ヵ年それぞれのコースに応じた教育カリキュラム、また、設置するⅠ類・Ⅱ類・Ⅲ類のコース教育の特性を一層伸長させます。
- ・大阪桐蔭として日本を代表する中等教育機関としての地位を確立します。

## 2. 中期的目標

## 1. 建学の精神・教育方針に基づく教育の実践

- (1) 時代の変化に柔軟に対応できるよう常にカリキュラムを見直し、桐蔭独自のカリキュラムを構築する。また、高大接続改革に求められている「学力の3要素」(①知識・技能の確実な習得 ②思考力、判断力、表現力 ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)に対する教学面の充実を図る。
- (2) Ⅲ類クラブの全国レベルでの活躍をバックアップする体制を整える。また、その活躍を継続させるため、指導力の後継者育成を進める。
- (3) 生徒のマナーの向上と挨拶の励行を促す。
- (4) 内部からの評価・外部からの評価を受け、教員の指導力の向上に取り組む。

## 2. 大阪産業大学および附属高校との連携

- (1) 大阪産業大学とのスポーツクラブの交流を図る。
- (2) 出張講義の機会を増やす、キャンパス訪問を検討するなど、大阪産業大学との進学に関わる連携を強化する。また、「特別推薦入試制度」を充実させる。
- (3) 大阪産業大学の入学試験の検証に関わる。
- (4) 定期戦の実施も視野に入れ、附属高校とのスポーツクラブの交流を図る。

## 3. 地域との連携

- (1) 地元(大東市)から応援される学校を目指し、地元地域のイベントへの生徒の積極的な参加を促す。
- (2) 組織のレベルで地元地域との連携を図り、地元地域に貢献する一方で、地元地域からの積極的な教育支援を受けることのできる開かれた学校を目指す。

## 4. キャンパス整備

- (1) 学園創立100周年に向けて「キャンパス整備計画」を策定し、最初の3年の計画を立案する。
- (2) スポーツクラブの練習場としての校外グラウンドを確保する。
- (3) 校内グラウンドを拡張する。
- (4) ICT教室など、特別教室を増設する。
- (5) 電気機械・器具の最新化により、エコスクール化を進める。

## 5. 卒業生および保護者との連携の強化

- (1) 桐友会、桐友会OB会、同窓会の3つの外郭団体との連携を強めるために、役員会や総会など、情報交換・情報共有の機会に教員も出席する。
- (2) 学園創立100周年に向けて、募金の積み立て計画を立てる。
- (3) 各会の規約を見直す。
- (4) 同窓会活動の活性化を支援する。

## 6. 大阪桐蔭ブランド力の強化

- (1) 学則定員、募集定員について、常に見直しを図る。
- (2) 広報活動を見直し、より効果的な方法を探る。
- (3) Ⅰ類・Ⅱ類の進学実績(特に国公立超難関大学・国公立医学系大学への合格)を向上させ、在籍生徒・保護者の満足度を高めるとともに、受験生へのアピールを強める。
- (4) Ⅲ類クラブの全国レベルでの活躍をバックアップし、全国優勝を目指す。そのことで、在籍生徒・保護者の満足度を高めるとともに、知名度を高める。

## 7. コンプライアンスへの取り組み

- (1) 各種規定を整備・周知し、コンプライアンスの徹底を継続して行う。
- (2) 学校法人大阪産業大学情報管理基本規程に基づき、情報管理体制を構築する。
- (3) 人権教育、ハラスメント教育、体罰、いじめ等に関する研修を実施する。

## 3. 学校関係者評価委員会からの意見

評価アンケートの結果と分析 (令和2年3月実施 主な項目を抜粋)	学校関係者評価委員会からの意見
<p>■ 授業に関して</p> <p>○ 授業の進度について 適正である (中 73% 高 72%)、遅くしてほしい (中 17% 高 16%)</p> <p>○ 授業の内容について 非常にわかりやすい・わかりやすい (中 86% 高 81%)</p> <p>○ 授業に対して満足しているか 非常に満足・満足 (中 87% 高 85%)</p> <p>○ 宿題の量について 適正である (中 64% 高 69%)、多すぎる (中 17% 高 13%)</p>	<p>・授業の進度、授業内容、満足度に関しては高い水準であるが、それぞれに満足していないもしくは改善が必要であると思っている生徒も少なからずいると思われる。その少数の生徒に対する対策等を何らかの形で改善できればいい。</p> <p>・宿題の量について【適正】が60%台、【多すぎる】が15%前後で</p>

【授業に対する評価は概ね良好であり、満足度もかなり高いことがわかった。一方で、授業が早すぎると感じている生徒や、宿題の量が多すぎると感じている生徒も少なからずいることから、生徒一人ひとりの状況を十分把握することが重要であり、場合によっては個別指導などの対応も必要である。】

#### ■ 教員に関して

- 教員は熱心に授業を行っているか 肯定的評価 (中 93% 高 93%)
- 教員は、質問をしやすいですか (聞いてくれる) 肯定的評価 (中 91% 高 89%)
- 教員は、あなたの悩みを聞いてくれますか 肯定的評価 (中 84% 高 84%)
- 教員は、あなたに問題が起こったときにしっかり対応してくれますか 肯定的評価 (中 94% 高 93%)

【授業に対する評価と同様に、教員に対しても高い評価が得られた。質問のしやすさ、生徒の悩み・問題への対応も肯定的な意見が多く、生徒と教員との距離が近いという本校の特色がよく表れた結果となった。】

#### ■ 学習への取り組みに関して

- あなたは、授業をしっかりと聞いていますか 肯定的評価 (中 91% 高 91%)、否定的評価 (中 9% 高 9%)
- あなたは、授業の予習・復習をきちんとしていますか 肯定的評価 (中 47% 高 38%)、否定的評価 (中 53% 高 62%)
- あなたは、宿題や課題にきちんと取り組んでいますか 肯定的評価 (中 77% 高 79%)、否定的評価 (中 23% 高 21%)
- あなたは、早朝テスト・終礼テストに真剣に取り組んでいますか 肯定的評価 (中 87% 高 87%)
- あなたは、模試を真剣に受験していますか 肯定的評価 (中 91% 高 89%)

【授業はしっかりと聞いている一方で、半数以上が予習復習への取り組みが不十分であり、宿題もきちんと取り組んでいない生徒がある程度いることがわかった。予習復習は学習の基本であるため、もっとその重要性を生徒達に伝え、習慣づけるための働きかけが必要である。】

#### ■ 学校行事に関して

- あなたは、学校行事に真剣に取り組みましたか 肯定的評価 (中 91% 高 92%)
- あなたは、学校行事には満足していますか 肯定的評価 (中 83% 高 79%)

【勉強・クラブだけではなく、学校行事にも真剣に取り組んでいることが確認できた。各行事の教育的意義を踏まえた上で、楽しく且つ充実感の高い行事を実施していくことが重要である。】

あるが、ここに含まれない生徒は宿題の量が【少なすぎる】と感じているかもしれない。各生徒に対してのより密度の濃い状況把握が必要である。

・①授業の進度について、「遅くしてほしい」という意見が約 20%弱や、②宿題の量について、「多すぎる」が 15%程度などの少数意見に関して深掘してほしい。

・①では遅くしてほしいというのは授業についていけない可能性が大きい。授業についていけないことに悩んでいれば学校生活が楽しくなくなるのではないかな。

・また②では多すぎると感じる理由には、宿題が妨げられていて好きな教科や興味のある分野に手が回らないのと、単に出された宿題が嫌で多いと感じているのとでは少し意味が変わると思う。

・否定的評価もあるので、何に不満を持っているのか具体的に把握するため、アンケートに記述欄を設けて、コメントを求めることも必要である。

・アンケート結果において高い水準であり、大阪桐蔭の教員の方々の熱心な指導の結果であると受け止めていいのではないかな。私の時代(3期生)から変わらず教員の方々のご尽力には敬意を払います。

・昔からの教員の熱心さが窺える結果だと思う。

・高い評価であるが、これに満足することなく、どの生徒にも漏れなく対応することが必要である。

・この項目に関しても概ね高い水準である。しかし予習、復習に関しての項目では50%以下の回答だった。この数字が授業内容やその理解度、宿題等が充実している結果なのか、それとも課題が飽和状態にあり予習復習に当てる時間が不足しているのはでは大きな違いである。いずれにせよ最終的な結果で判断しなければならないが、予習復習は学習し理解を深めるためにはマストとなる作業であるため、何らかの手だてが必要になるかもしれない。

・予習復習の取り組みに関して否定的評価が多いように思われる。復習は宿題の範囲でカバーできそうだが、予習の改善を願いたい。

・宿題が多すぎて予習・復習が疎かになっている可能性もあるので、バランスをとることが大切である。

・アンケートの結果から充実度は高いように思う。学校の特徴としては勉強やクラブが中心で日々経過していると思う。その日常からちょっと違った中学生、高校生らしい行事等で、いい思い出として残るようなものを期待する。同窓会としてもこの分野ではお手伝いできると思う。

・中学生より高校生の方が真剣に取り組んでいるのに、満足度は高校生の方が低い。恐らく高校生のほうが他校の行事のことを聞いていて、それと比較してしまうからではないかな。行事に関しては大阪桐蔭が他校より羨ましく思える行事を、一つ名物として特化すればどうか。大阪桐蔭の行事と言えば…これ!と保護者、生徒が言えるようなもの。

・学校行事活性化のため、アンケートでコメントを求めて、どんなことをやりたいか生徒達の声聞くことも必要である。

<p>■ 学校生活に関して</p> <p>○ あなたは、学校生活を楽しく感じますか 肯定的評価（中 85% 高 82%）</p> <p>【大半の生徒が学校生活を楽しいと感じており、学校の雰囲気をよく表した評価となった。一方で、そうでないと感じている生徒も一定程度おり、細やかな目配りも忘れてはならない。】</p> <p>■ その他</p> <p>○ あなたは、校則をしっかり守っていますか 肯定的評価（中 94% 高 94%）</p> <p>○ あなたは、挨拶をしっかりしていますか 毎回挨拶をする（中 47% 高 55%） たまにする（中 48% 高 39%）、ほとんど・全くしない（中 5% 高 6%）</p> <p>【挨拶の励行を呼び掛けているが、挨拶を毎回すると答えた生徒が約半数にとどまっております、さらなる働きかけが必要である。また、教職員が率先して挨拶していくことも必要である。】</p>	<p>・アンケートの結果からは特段問題はなさそうである。学校としても十分目が行き届いているのではないかと。ただ、表面には出てこない生徒同士の問題については、なかなか学校として拾い上げるのが難しいが、そこを拾い上げられるように、教員と生徒との信頼関係の構築は大変重要に思う。</p> <p>・学校生活の楽しさはクラスや友人や先生みんなで作り出すものである。そして、生徒が楽しく感じやすいのは、学習以外の行事に多いと思われる。学校行事に関しての「満足していますか」の意見と、中学生と高校生の肯定的評価の割合とがリンクしているのではないだろうか。</p> <p>・このとおりであると思う。</p> <p>・校則に関しては皆さんよく守られているようである。おそらく常日頃からの教職員による指導や、コミュニケーションの取り方なりが行き届いていて、真面目に取り組んでいる生徒さんが多いのだと思う。</p> <p>・挨拶については他の項目と比べると低いレベルにある。社会人としての結果であるとすれば、かなり問題のある数字であろう。しかし、思春期を迎えた中高生では、ある程度納得できるのかなと思う。社会に出た時に挨拶の重要性は誰もが皆再認識すると思う。その時に困らないように今の段階から働きかけるのは大切なことである。</p> <p>・せめて学校の中だけでも構わないが、挨拶は徹底してほしい。これは社会に出ても重要である。（私が学校を訪問した際にはよく挨拶してくれているように思える。）これはある意味家庭での躾の問題でもある。挨拶が「恥ずかしい、格好悪い」と思っているのではないだろうか。声を出すということでもまわりの人の気持ちを明るくさせたり、元気を出せたり、また自分が元気になったりするもので、そういう指導や雰囲気づくりを先生方が率先していただきたい。</p> <p>・大学キャンパス内移動中に大きな声でしゃべったり、通学中の自転車マナーが悪くヒヤッとしたりすることもあるので、マナー教育をしっかりやってもらいたい。</p> <p>・食堂の満足度に関するアンケートや、施設改善の要望などを聞くことも必要である。</p> <p>【総括意見】</p> <p>・全体的に高評価を得られているが、少数意見ほど色々なヒントが隠されているように思われる。生徒が集まってきているので、我々の頃とは指導方法も変わっていると思うが、それに準じて対応しておられるように思う。これは進学した大学やクラブ活動の実績が物語っている。</p> <p>・これからますます少子化になっていく中、小学生、中学生が大阪桐蔭を選択する魅力あふれる学校になるように、学校行事にも魅力ある学校にしてもらいたい。そして、挨拶の励行を切に願う。社会に出た時に大阪桐蔭のこの習慣が役立つ学校になってもらいたい。</p>
---	---

本年度の取組内容及び自己評価に関する意見

1. 建学の精神・教育方針に基づく教育の実践
  - (2) Ⅲ類寮生の寮設備の老朽化が進んでおり、環境の改善が必要である。また、食事面においても栄養面など改善が必要である。
  - (3) Ⅲ類生は比較的挨拶が出来ているが、それ以外の生徒はまだまだ不十分である。登校時に教職員が校門に立って挨拶するなどを行えば、生徒の意識も改革出来て、自ら挨拶できる生徒が増えると考え。
2. 大阪産業大学および附属高校との連携
  - (4) 定期戦の実施を視野に入れて交流を図る活動は評価できる。今後も系列校と切磋琢磨しながら発展して行って欲しい。
3. 地域との交流
 

今後も生徒会やクラブを中心として地域と積極的につながりを強めて行って、地域に愛される学校を目指す必要がある。文化祭等での交流も検討する

必要がある。

4.キャンパス整備

(4) 他校に比べて環境整備が遅れているように感じられる。また、教員においても環境を十分に使いこなせるよう、今後は教員への研修等も検討する必要がある。

5.卒業生および保護者との連携の強化

桐友会、OB会、同窓会の相互交流が無く、学校との関係だけに終わってしまっている。今後は各会との定期的な会合等を検討し、情報交換・情報共有を増やす必要がある。

6.大阪桐蔭ブランド力の強化

生徒数は増加傾向にあり、広報活動については一定程度達成できているように感じる。今後は在校生の満足度を高めるために、授業（オンライン授業を含む）の質をさらに上げていく必要がある。

7.コンプライアンスへの取り組み

(3) 各種規定の整備・見直しを図っている点については評価できる。個別の事案についても親身になって話を聞いて対応できているかどうか検証が必要である。

4. 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価 ※【 】内は達成状況及び今後の課題
1 建学の精神・教育方針に基づく教育の実践	<p>(1) 時代の変化に柔軟に対応できるよう常にカリキュラムを見直し、桐蔭独自のカリキュラムを構築する。また、高大接続改革に求められている「学力の3要素」(①知識・技能の確実な習得 ②思考力、判断力、表現力 ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)に対する教学面の充実を図る。</p>	<p>一貫生、高入生、類別に設定したカリキュラム、個別大学対応授業展開・習熟度別授業展開等の改革を通じての教育力向上。</p>	<p>中高一貫教育による本校独自のカリキュラムを構築するための検討の推進</p>	<p>英語4技能強化を目的に、中2からのオンライン英会話授業に加え、中1においてもベルリッツと提携し、ネイティブスピーカーによる英会話授業を実施した。 【中1から外国人講師に接し、ネイティブの英語に触れることにより、英語学習に対する強い動機付けができ、学習意欲が高まった。】</p>
		<p>授業やクラブ活動等を通じた探求心の醸成、人格教育の推進。</p>	<p>探求型授業の実施、人格教育の実施</p>	<p>プロジェクトワーク、クラブ活動などを通じて、自ら学び自ら考える力を育成することができた。また学年の枠を超えた協働性も育成することができた。 【クラブ加入率が若干下がっているので、クラブへの加入を促すことも必要である。】</p>
<p>学校教育、学校行事すべてを通じての情操教育推進。</p>	<p>学校教育、学校行事すべてを通じての情操教育推進。</p>	<p>文化祭・音楽祭・芸術鑑賞会などの実施</p>	<p>多数の来場者のもと予定どおり文化祭、音楽祭を実施した。劇場を貸し切って芸術鑑賞会を実施できた。 【芸術鑑賞会では日本を代表する劇団の舞台を鑑賞することができ、生徒達の感動も大きかった。今後も質の高い一流の文化や芸術に触れる機会を与えることが重要である。】</p>	
<p>語学研修や留学生との交流行事の実施等による国際教育の推進。</p>	<p>語学研修や留学生との交流行事の実施等による国際教育の推進。</p>	<p>語学研修などの実施</p>	<p>夏季研修において、中3生が留学生ボランティアと京都を巡り、英語でのコミュニケーションを図った。 カナダ語学研修は新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった。 【カナダ語学研修は時期を変えて実施の可能性について検討中。】</p>	
<p>(2) III類クラブの全国レベルでの活躍をバックアップする体制を整える。また、その活躍を継続させるため、指導</p>	<p>全国大会への出場と上位進出を果たすための指導力強化。</p>	<p>優秀な指導者の確保</p>	<p>新たな指導者を採用し、指導力の強化を図った。 【若くて優秀な指導者を採用することができ、後継者育成を進めることができた。今後も将来を見据えて指導者の採用・育成を行</p>	

	<p>力の後継者育成を進める。</p> <p>(3) 生徒のマナーの向上と挨拶の励行を促す。</p> <p>(4) 内部からの評価・外部からの評価を受け、教員の指導力の向上に取り組む。</p>	<p>挨拶・身嗜みや自転車マナーを含む通学マナーの指導徹底。</p> <p>研究授業・教員向け研修会の実施、教員向け外部研究会・研修への参加等による指導力向上。</p> <p>生徒による授業評価を受け、授業改善に役立てる。</p>	<p>挨拶・マナー指導の実施</p> <p>教員の立ち番実施</p> <p>研究授業の実施</p> <p>教員向け研修会の実施</p> <p>外部研修会への参加</p> <p>授業評価アンケートの実施</p>	<p>っていく予定である。】</p> <p>新入生オリエンテーション、朝礼、学年集会、全校集会等の機会を利用し、マナーの向上や挨拶の励行を促した 【自ら進んで挨拶する生徒がまだまだ少ないため、教職員から声かけするなどの工夫が必要である。】</p> <p>登下校時の立ち番指導・駐輪指導及び集会を通じて自転車マナーの向上に取り組んだ。 【マナー指導は継続が重要である。生徒指導担当以外の教員も立ち番にあたったが、時間が限られ対処的なものになっているので、今後検討が必要である。】</p> <p>授業力の向上に向けて、教科主体による研究授業を実施した。また、授業参観や入試説明会の際に保護者に授業を公開し、授業力の向上に役立てた。 【研究授業のほかに教員が自主的に授業見学を行うなど、指導力向上に向けた積極的な取組が多くみられた。】</p> <p>新任の教職員および希望者が消防署での普通救命講習を受講した。 【以前実施した AED 講習のフォロー研修を実施した。フォロー研修に加え、毎年違ったテーマでの研修も必要である。】</p> <p>人権研修、入試研究会等への参加により教員としての資質の向上を図った。 【個人研究費の活用により外部講習会への参加を促す方策も必要である。】</p> <p>中 1～高 2 生を対象に授業評価アンケート・自己評価アンケートを年度末に実施した。 【アンケート結果の分析・評価を行い、授業改善などに活用する予定である。】</p>
<p>2 大 阪 産 業 大 学 お よ び 附 属</p>	<p>(1) 大阪産業大学とのスポーツクラブの交流を図る。</p> <p>(2) 出張講義の機会を増やす、キャンパス訪問を検討するなど、大阪産業大学との進学に関わる連携を強化す</p>	<p>大阪産業大学とのスポーツクラブの合同練習や施設の共同利用を通じて情報交換・指導力の向上・技術力の向上を目指す。</p> <p>大阪産業大学との連携を強化するとともに、特別推薦入試制度を充実する。</p>	<p>クラブ間の合同練習等の実施</p> <p>大学との進学に関わる協議の実施</p>	<p>バスケットボール部および男子サッカー部が、大阪産業大学のクラブとの間で練習参加、練習試合などを行った。 【クラブ交流によりⅢ類生の大阪産業大学への進学にも繋げることができた。】</p> <p>大学の入試センターと話し合いを行い、特別推薦入試制度の見直しを行った。 【今後も継続的に大学と協議を行い、特別推薦制度の見直しなどを通じて、連携を深めて行く予定である。】</p>

<p>高校との連携</p>	<p>る。また、「特別推薦入試制度」を充実させる。</p> <p>(3) 大阪産業大学の入学試験の検証に関わる。</p> <p>(4) 定期戦の実施も視野に入れ、附属高校とのスポーツクラブの交流を図る。</p>	<p>高大連携事業の一環として大学の入試センターと協力し、入学試験の検証に関わる。</p> <p>附属高校とのスポーツクラブの合同練習や施設の共同利用を通じて情報交換・指導力の向上・技術力の向上を目指す。</p>	<p>入学試験の検証の実施</p> <p>クラブ間の合同練習等の実施</p>	<p>大阪産業大学「公募推薦入試」「一般入試」において入試問題の解答作成を本校教員が行った。</p> <p>【入試問題の点検に協力・貢献することができた。】</p> <p>バスケットボール部、少林寺拳法部が交流の機会を持つことができた。</p> <p>【今後は他のクラブにも交流機会を広げ、両校のクラブ強化につなげたい。】</p>
<p>3 地域との連携</p>	<p>(1) 地元(大東市)から応援される学校を目指し、地元地域のイベントへの生徒の積極的な参加を促す。</p> <p>(2) 組織のレベルで地元地域との連携を図り、地元地域に貢献する一方で、地元地域からの積極的な教育支援を受けることのできる開かれた学校を目指す。</p>	<p>生徒会・クラブを中心として、地元地域のイベントに積極的に参加して、つながりを強める。</p> <p>学校として地元地域に貢献し、地元住民から親しまれる学校となる。</p>	<p>地元地域イベントへの参加</p> <p>地元地域との連携実施</p>	<p>中垣内自治会の清掃活動に、生徒会、インターアクト部の生徒が参加した。</p> <p>また、所轄税務署からの依頼により、「税の作文」への作品応募を中学中心に行った。</p> <p>【奉仕活動を通して地域住民の方に喜んでいただくことができ、生徒達にとっても有意義で充実した機会となった。】</p> <p>取材を通じてではあるが、大東市長と意見交換をする機会を得た。</p> <p>また、四条畷警察と緊急時の情報共有の確認を行った。</p> <p>【今後も継続的に情報交換を行い、連携を図ることが重要である。】</p>
<p>4 キャンパス整備</p>	<p>(1) 学園創立 100 周年に向けて「キャンパス整備計画」を策定し、最初の 3 年の計画を立案する。</p> <p>(2) スポーツクラブの練習場としての校外グラウンドを確保する。</p> <p>(3) 校内グラウンドを拡張する。</p> <p>(4) ICT 教室など、特別教室を増設する。</p> <p>(5) 電気機械・器具の最新化により、エコスクール化を進める。</p>	<p>キャンパス整備計画を策定し、教育環境、課外活動の環境を整備する。</p> <p>GIGA スクールに対応した ICT 等の環境整備を行い、質と量の両面から快適な学習環境整備を行う。</p> <p>教務システム等の活用、LAN 環境の整備により、業務の効率化、情報伝達の効率化とペーパーレスを図る。</p>	<p>キャンパス整備計画の策定</p> <p>Wi-Fi 対応教室の整備</p> <p>システムの構築、セキュリティ対策の強化</p>	<p>校外グラウンドの確保に向け調査を行った。また、施設・設備の補修、校内グラウンドの人工芝張替え、照明の LED 化などの整備事案の検討を行った。</p> <p>【今後は整備計画を具体化し、予算確保に向けた法人との協議を進める予定である。】</p> <p>選択 5 教室について Wi-Fi 環境の整備を行い、タブレットを設置した。</p> <p>【今後、普通教室にも Wi-Fi 環境の整備を進める必要がある。】</p> <p>新教務システム、Web 旅費システムの本格運用を開始した。</p> <p>コンピュータ教室の機器更新を行った。</p> <p>本館空調設備の更新を行った。</p> <p>【システムの導入により、業務の効率化、迅速化を図ることができた。今後は LAN 環境の整備を行う必要がある。】</p>

<p>5 卒業生および保護者との連携の強化</p>	<p>(1) 桐友会、桐友会OB会、同窓会の3つの外郭団体との連携強化 (2) 学園創立100周年に向けて、募金の積み立て計画を立てる。 (3) 各会の規約を見直す。 (4) 同窓会活動の活性化を支援する。</p>	<p>各役員会や総会など、情報交換・情報共有の機会を増やす。</p>	<p>役員会や総会への教職員の出席</p>	<p>役員会、総会に毎回教職員が出席し、本校の要望を伝えたり、情報共有を行うことができた。 【連携を深めることができ、本校の実状・要望を踏まえた事業活動を行っていただくことができた。】 【学園創立100周年、大阪桐蔭創立40周年に向けて、桐友会に対して寄付金の積み立てをお願いした。】 【同窓会と打ち合わせを行いながらホームページ作成を支援し、本校HPとリンクした。】</p>
<p>6 大阪桐蔭クラブの強化</p>	<p>(1) 学則定員、募集定員について、常に見直しを図る。 (2) 広報活動を見直し、より効果的な方法を探る。 (3) I類・II類の進学実績(特に国公立超難関大学・国公立医学系大学への合格)を向上させ、在籍生徒・保護者の満足度を高めるとともに、受験生へのアピールを強める。 (4) III類クラブの全国レベルでの活躍をバックアップし、全国優勝を目指す。そのことで、在籍生徒・保護者の満足度を高めるとともに、知名度を高める。</p>	<p>中学・高校それぞれの志願者・入学者数の推移、今後の動向などを予測し、必要に応じて定員の見直しを行う。  渉外・広報部、入試企画部を充実し、積極的な広報活動を行う。  フォローアップ講座・レベルアップ講座・大学別対策講座・長期休暇期間における受験対策講座を実施し、学力向上を図る。  高い目標を持って練習を行い、全クラブが全国大会で活躍できる実力をつける。</p>	<p>定員見直しについての検討実施  志願者・入学者数の増加  難関大学の合格者数(難関国立10大学に100名以上合格)  各クラブの全国大会等への出場</p>	<p>今回は定員の見直しは見送った。 【中高の今後の志願者動向によっては、入学定員の改正も必要である。】  中学校は令和2年度入学者が275名、在籍者が781名となった。高校は入学者数が募集定員を大きく上回る490名となった。 【目標を概ね達成できた。今後広報担当を増やし積極的な広報活動を行う。】  東京大学8名、京都大学33名、大阪大学22名、神戸大学28名をはじめ、難関国立10大学に103名が合格した。国公立大学医学部医学科へは神戸大学、筑波大学などに20名が合格した。 【特別講座などの実施により成績が向上し、多数の生徒が難関大学へ進学でき、進路指導の成果が出た。】  III類全クラブが全国大会出場を目指して日々練習に励み、優秀な成績を収めた。令和元年度の各クラブの全国大会出場状況は以下のとおり。 ＜硬式野球部＞ 第92回選抜高等学校野球大会への出場が決定した。(大会は新型コロナウイルス感染症の影響で中止) ＜ラグビー部＞ 第99回全国高校ラグビー大会に出場し、ベスト8に入った。 ＜陸上競技部＞ 全国高校総体(インターハイ)及び第13回U19日本陸上競技選手権大会において高2生(男子)が砲丸投で優勝し、全国大会二冠を達成した。また、当生徒</p>

				<p>は第4回北和記録会において18m23cmの日本高校新記録を樹立した。</p> <p>&lt;ゴルフ部&gt;</p> <p>2019年度全国高等学校ゴルフ選手権大会女子個人の部において、高3生が優勝した。当生徒は女子プロゴルフテストに合格し、日本史上初の高校生プロとなった。</p> <p>高2男子2名、高2女子2名が全国高等学校ゴルフ選手権春季大会への出場が決定した。(大会は新型コロナウイルス感染症の影響で中止)</p> <p>&lt;女子バスケットボール部&gt;</p> <p>全国高校総体(インターハイ)に出場し、3年連続第3位に入賞した。</p> <p>第72回全国高等学校バスケットボール大会(ウインターカップ2019)に出場し、ベスト16に入った。</p> <p>&lt;男子バスケットボール部&gt;</p> <p>全国高校総体(インターハイ)に出場した。</p> <p>&lt;卓球部&gt;</p> <p>高2生1名、高1年2名が、2019年度全日本卓球選手権大会(ジュニアの部)に出場した。</p> <p>第47回全国高等学校選抜卓球大会学校対抗の部に29年連続29回目の出場が決定した。(大会は新型コロナウイルス感染症の影響で中止)</p> <p>&lt;バレエ部&gt;</p> <p>高1生がJapan Ballet Competition Grand Champion Ships' 2019に出場し、クラシックバレエ高1・高2部門で第4位に入った。</p>
7 コ ン プ ラ イ ア ン ス へ の 取 り 組 み	<p>(1) 各種規定を整備・周知し、コンプライアンスの徹底を継続して行う。</p> <p>(2) 学校法人大阪産業大学情報管理基本規程に基づき、情報管理体制を構築する。</p> <p>(3) 人権教育、ハラスメント教育、体罰、いじめ等に関する研修を実施する。</p>	<p>各種規定の整備・見直しを行い、コンプライアンスの徹底を図り、学校としての社会的責任を果たす。</p> <p>情報管理体制の構築し、個人情報の保護、情報漏洩の防止に努める。</p> <p>人権教育・HR活動などを通じて道徳教育を実施する。</p>	<p>規程の整備・見直し</p> <p>学園規程の教職員への周知徹底</p> <p>道徳教育や講演会の実施</p>	<p>まずは学内すべての規程や規則などを収集し、整理を行った。</p> <p>【規程・規則の整合を図りながら、加筆修正・不要規程の廃棄など行う予定である。】</p> <p>学園の各規程が整備されたので、教職員に周知した。</p> <p>【今後の課題として本校内でのルールを策定し、教職員へ周知徹底を図る必要がある。個人情報の取り扱いについては慎重であるべきだが、それが情報発信を弱めることにつながる可能性もあり、様々なケースを検証する必要がある。】</p> <p>年2回のいじめアンケートを実施し、それを踏まえた「よりよい学級をつくろう」HRを実施した。また、人権映画鑑賞を通じて人格教育を推進させた。</p> <p>【本年度より中学の人権映画鑑賞は学年ごとにテーマを変えて実施した。今後も様々</p>

				な方法により人権教育を推進することが必要である。】
--	--	--	--	---------------------------